


図書館フェスティバル特別展示

名古屋なんでも調査団：名古屋の地図  調査！ 明治六年調「常盤村字図」	場所	鶴舞中央図書館 第二集会室
	期間	2011年11月12日(土) ～2011年11月13日(日)

明治六年調『常盤村字図』は58字（＋全体の索引図）の各字図をまとめた地図帳で、明治前期に作られた地籍図のひとつだと思われます。地籍図とは土地の一筆ごとの区画（筆界）、地種、地目、面積、所在場所の字名と地番、あるいは所有者などを示した大縮尺の地図で、一般に地籍図と呼ばれるものには明治前期に作成されたものと、戦後に新しく制定された法令の規定に基づいたものがあります。明治前期には全国で下記のとおり4度にわたって地籍図が作成されましたが、必ずしも全府県で4回作成されたわけではなく、府県によって異なるようです。

- | | |
|-----------|------------|
| ①壬申地券発行の達 | 明治5年7月4日 |
| ②地租改正法公布 | 明治6年7月28日 |
| ③地籍編成通達 | 明治7年12月28日 |
| ④地押調査訓令 | 明治18年2月18日 |

“明治六年調”とあることから『常盤村字図』は②又は①の調査により作成されたものということになります。しかし、『角川日本地名大辞典 23 愛知県』（角川書店 1989年）によると常盤村は“明治9～22年の村名”で“御器所村と名古屋村東畑・名古屋新田などの各一部が合併して成立”したと書かれています。したがって、明治6年に調査（開始又は終了？）したものが常盤村の存在した明治9年から明治22年の間に『常盤村字図』としてまとめられたということになります。『常盤村字図』をよく見てみると、所々に「名古屋新田入地」などの朱書きがあり、確かに御器所村が名古屋新田などの一部と合併する以前の地図であることがわかります。これらのことから『常盤村字図』は実は合併以前の御器所村の字図である可能性が高いと思われます。

今回の展示では、『常盤村字図』のうち現在の鶴舞公園付近の字図とその特製手づくりパズルをご用意しました。『名古屋市史』の付図のひとつである「名古屋市鶴舞公園設計及舊字図 大正四年設計」をヒントに現在の鶴舞中央図書館が地図のどの辺りにあるか考えてみてください。

- | | | | |
|------|----------|------|--------------|
| 二十五字 | 東寺（とうじ） | 三十字 | 東鶴舞（ひかしつるまい） |
| 二十六字 | 山崎（やまさき） | 三十一字 | 西古井田（にしこいた） |
| 二十七字 | 竹戸（たけと） | 三十二字 | 中古井田（なかこいた） |
| 二十八字 | 小針（こばり） | 三十三字 | 東古井田（ひかしこいた） |